

# 農繁期 レポート

令和6年 6月号

## ニールファーム

オーナー  
産地  
水田面積  
保証量  
形態品種

株式会社 新流  
三重県伊賀地区  
9.0アール  
玄米252kg  
無農薬栽培コシヒカリ



田植え機に除草専用のアタッチメント「楽とーる」をつけて除草しています。



### 生産者 ツーライフ農園：北出茂樹さん

今年は高温障害対策として例年より少し遅く植えたので、田植え後50日余りですが、分けつも順調に進んでいます。水は豊富にあります。何故か水田雑草ホタルイ(※)が特に目立ちます。部分的に機械除草をしようと思っはいますが、畦畔の草刈りに追われる毎日です。

(※)ホタルイ…イグサに似た姿のカヤツリグサ科ホソガタホタルイ属の植物(右写真)



### 6月の作業内容

#### 1. 初期除草の大切さ

除草剤の使用の有無に関わらず、お米の栽培において、「初期除草」をいかに成功させるかは大切なことです。雑草の生育をさせないような水管理やタイミングに気を使います。除草をすることで、肥料も効率的に使えます。



農薬に頼らない除草方法も

#### 2. 草刈り

お米づくりにおいて半分の期間は「草刈り」をしていると言っても過言ではありません。それほど重要な作業ですが、近年は草刈り機も進化しており、様々なタイプのものがあります。刈払機だけでは腰への負担も大変です。



のり面の草刈りも楽々です

#### 3. 水の管理

田植えから中干しまでの期間は、しっかり水を田んぼに蓄えておくことがイネの生育の上でも非常に重要です。空梅雨の場合水不足が心配されますが、いかに適切な水管理ができるかが収穫にも影響を与えます。



水路の管理も重要な仕事です

#### 4. 中干し

お米づくりの中で最も重要な管理作業である「中干し」は、品質や収量を左右しますので、タイミングには注意を払います。基本は田植えの約1か月後、あるいは出穂の約1か月前を目安に行います。



田の表面が軽く亀裂が生じる程度に